

高級住宅地の代名詞



甲山の東側に位置する甲東園は1896(明治29)年、芝川又衛門が果樹園を開き名付けた
 ―西宮市上甲東園1で

はんしん7園
 写真・文 山田哲也

45

西宮七園

西宮は全国でも珍しい、地名や駅名に「園」が付く集中地域だ。
 数えると甲子園、香櫨園、苦楽園、甲陽園、甲東園、甲風園の6カ所ある。これに、昭和園(現・北昭和町と南昭和町)を加えて「西宮七園」と呼ばれる。

高級住宅地の代名詞になっている。

「園」の付く地名の先駆けとなったのが、1907(明治40)年に大阪の実業家、香野蔵治と櫨山慶次郎が作った遊園地だった。二人の姓を二文字ずつ取って「香櫨園遊園地」と名付けられた。同遊園地は阪急夙川駅の西側一帯にあり、閉園後は高級住宅地に変わった。遊園地オープンと同じ年に阪神本線が開通し、最寄り駅が香櫨園になった。

甲子園は1924(大正13)年、十二支の甲子(まねこ)の年に完成した甲子園大運動場(現・阪神甲子園球場)に由来している。

甲陽園は甲山の陽(ひなた)、南側を意味する。映画撮影所や動物園で栄え、「しるや」「播半」といった料理旅館もあった。苦楽園は明治後期にラジウム鉱泉が発見され、温泉地として開発された。

レジャーランドに由来している「園」の地名。現在はいずれも閑静な住宅地に様変わりしている。